

## 平成 19 年度 第 1 回 柏原市文化財保護審議会 会議録 (要旨)

**日時** 平成 19 年 5 月 29 日 (火) 午後 3 時～午後 4 時 15 分

**場所** 柏原市立歴史資料館 3 階研修室

**出席者** 委員 塚口義信 (堺女子短期大学学長)、置田雅昭 (天理大学教授)、  
綿貫友子 (大阪教育大学教授)、岩城卓二 (京都大学人文科学研究所准教授)、  
長谷洋一 (関西大学教授)

事務局 三浦誠 (教育長)、大森敏文 (教育部長)、村井義和 (社会教育課課長)、  
横尾孝男 (社会教育課課長補佐)、北野重 (主幹兼文化財係係長)、  
桑野一幸 (主査)、石田成年 (主査)、浅田隆裕 (嘱託)、島内洋二 (嘱託)、  
浅野保夫 (歴史資料館館長)、安村俊史 (主査)

**次第** 開会 (午後 3 時)

条例趣旨説明

委嘱状伝達

教育長挨拶

委員紹介

事務局紹介

会長・副会長選任 会長 塚口委員 副会長 置田委員

会議録署名人選任 綿貫委員 岩城委員

議事 議案 1 市指定文化財の諮問について

報告 1 柏原市の文化財について

その他

閉会 (午後 4 時 15 分)

見学

**議事** 議案 1 「市指定文化財の諮問について」

平成 19 年 5 月 29 日付、柏教委第 301 号「市指定文化財の諮問について」により  
「高井田山古墳出土品」を有形文化財として市指定文化財に指定することを諮問。

高井田山古墳と出土品の概要説明<事務局>

- ・高井田横穴群整備事業に伴い、平成 2 年暮れから平成 3 年春にかけて発掘調査を実施。
- ・墳丘は直径約 22m の円墳。

- ・埋葬施設は安山岩の板石を積み上げた南に開口する右片袖式の横穴式石室。
- ・須恵器の年代観（TK23・TK47）から5世紀末の築造と考える。
- ・画像鏡は4例の同範鏡が知られる。
- ・火熨斗は古墳時代の完形品としては重要文化財の新沢千塚126号墳出土例があり、ほかに完形の出土例はない。
- ・金層ガラス玉は国内では出土例が少ない。新沢千塚126号墳に次いで年代的には古い。

#### 意義

- ・6世紀以降の墓制（横穴式石室の採用、追葬、葬送儀礼等）の初現的形態がここでみられる。そうした形態は百済の影響下で行われていたことが遺物から窺い知ることができる。
- ・初期横穴式石室の典型例として柏原市のみならず全国の古代史研究の中で非常に重要な遺跡、遺物とすることができる。
- ・以上の理由で、条例施行に当たり第1号候補として紹介した。

#### 質問・意見

##### 対象について

- <会長> 諮問の対象は「高井田山古墳出土品」でよいか。
- <事務局> 「出土品一括」として諮問する。

##### 「石鏃」について

- <副会長> 「石鏃」は、高井田山古墳出土品としては適切ではないのではないかと。
- <委員> 他のものが一括して市指定文化財になるのは非常に重要なこと。
- <委員> 本来の主旨と違うものは、石鏃も「附（ついたり）」として一括で指定が可能ではないか。漏れのないようにしていただきたい。

##### 員数について

- <副会長> 「短甲18点」は破片であるなら「18片」にしないと、接合した場合、点数が減ったりする。ご検討を。
- <委員> 員数のカウントにも工夫をしていただければ。
- <委員> 数の数え方を慎重に。

##### 年代について

- <副会長> 年代については5世紀後半ぐらいのほうがいいのでは。

<事務局> 出土須恵器はTK23 型式の新しい段階と考える。今は5 世紀後半、470～490 年との考えが多い。新しい段階の480～490 年の間で、報告書には5 世紀末とした。一般的には「5 世紀後半から末」とするのが妥当かと考える。

<会長> 6 世紀初めにかかる可能性はないか。

<事務局> ないと考える。研究成果として6 世紀前半に下げている方もある。火熨斗が百済の武寧王陵と同じものということで、武寧王の没年にこの古墳を位置づけるという考えから6 世紀前半とみている。

<会長> 審議会としては指定していただく方向で次回答申す。それまでにご指摘のあった「員数」、「名称」、「単位」を明確にすること。また古墳の年代、石鏃の「附」の件等、置田副会長を中心に、事務局で書類を正確なものにしていただきたい。

## 報告1 「柏原市の文化財について」

### 概要説明<事務局>

- ・ 柏原市は日本で最大、最も古墳が多い地域。
- ・ 水運、陸運の表玄関的な役割を果たして、中国、韓国からの文化を導入した場所である。
- ・ 弥生時代の高地性集落、高尾山から多紐細文鏡が出土。
- ・ 古代寺院が多い。文献にも記載されている河内六寺や河内国分寺、国分尼寺等が多く造営された。
- ・ 柏原船、国分船の運行に関わる町や遺構がある。
- ・ 古文書調査の機会が増え、新資料への期待が高まっている。
- ・ 天然記念物の樹木、近代化遺産、建造物等も含め、古代から近代に至るまで多くの文化財がある。
- ・ 指定候補をはじめ、今後文化財の保存活用をはかるためにご指導いただきたい。

### 質問・意見

<会長> 次回は答申であり、以降、順次指定していきたい。資料に候補をあげていただいているが、ほかにもいろいろとあると思う。たとえば、宮座の制度が残っていると聞く。どのような状況か。

<事務局> 雁多尾畑地区に宮座の制度が残っている。記録を取っているが、学術

的なレベルまでの評価ができていない。

<会長> 民俗学ご専門の市川委員のお力を借りて、調査に行っていたらどうか。

## その他

<会長> 答申にあたる第2回の審議会について、事務局ではいつごろを予定しているか。

<事務局> 具体的には決めていないが、秋から冬頃にかけて、できれば年内で考えている。

<会長> 各委員のご予定を踏まえ、日程調整するよう。

## 見学

閉会后、事務局の案内により、資料館常設展示「高井田山古墳出土品」ならびに史跡高井田横穴公園内「高井田山古墳」の見学。

以上